

編 集 後 記

つつしんで新年のご挨拶申し上げます。

“総合リハビリテーション”誌も首がすわり歩き始める年を迎えました。今月は読みごたえのあるものが多く、ずっしりと重みを感じます。

脳性麻痺の特集ですが、故高木憲次先生のご努力で肢体不自由児に対する考え方はわが国の福祉医学行政の中では他の面に比べて進んでいたかもしれませんが問題も多く、個人的な努力がなければ福祉の充実が遅れるという国情であってはいけなわけでした。エネルギー不足の折からますます産業優先から福祉転換が必要な年になりそうです。

脳性麻痺の早期診断を亀山先生グループ、脳性麻痺の補助具を高松先生、脳性麻痺の心理について永井先生がご執筆下さいました。白木先生の脳性麻痺の神経病理学は講座として連載となります。また講座として吉川先生の骨代謝が始りますが、リハビリテーション

医学でいずれも必要な知識と内容です。

武智先生の“人権思想とリハビリテーション”は今月号の圧巻です。リハビリテーションが育つのに土壌が肥沃でないわが国の問題点は確かに人権思想の歴史的背景を十分に理解しないまま、つまりリハビリテーションの社会的な意義・根拠が十分論議されないまま、技術的な面のみが先に導入された傾向も強いと思います。自由権の人権、社会権の人権を十分考えて、リハビリテーションの推進に関して目的概念をかかげる必要性を教えられます。宗教的背景が思想の上では影響があっても現実の生活の中では根が生えているとは思えないわが国の問題点に西欧とは違ったものがあります。どうかご感想、ご意見をお寄せ下さい。

今年もどうぞ“総合リハビリテーション”をよろしくお願い致します。(荻島 秀男)

編集顧問

天 児 民 和
大 島 良 雄
小 池 文 英
砂 原 茂 一
津 山 直 一
水野 祥太郎

編集委員

明 石 謙
上 田 敏
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
荻 島 秀 男
土 屋 弘 吉
横 山 巖

編集同人

赤 津 隆
青 山 孝
今 田 拓
今 村 哲 夫
江口 寿栄夫
小 野 啓 郎
河 邨 文 一 郎
金 久 卓 也
兼 松 英 夫
五 味 重 春
沢 村 誠 志
杉 山 尚
中 村 裕
野 島 元 雄
間 得 之
長谷川 恒雄
橋 倉 一 裕
平 方 義 信
三 島 博 信
山 内 裕 雄
渡 辺 英 夫
飯 田 卯 之 吉
遠 藤 千 恵 子
小 川 孟
加 藤 一 郎
小 島 蓉 子
笹 沼 澄 子
鈴 木 明 子
高 田 玲 子
陳 慧 玉
野 本 卓

(以上五十順)
(順, 敬称略)

次 号 予 告 (2 卷 2 号)

特集 脳性麻痺のリハビリテーション II

脳性麻痺の早期治療……………	長崎大	M・サイボルト
脳性麻痺児に対する通園訓練に関する諸問題……………	聖母整肢園	梶 浦 一 郎・他
脳性麻痺児の心理療法的治療教育……………	しいのみ学園	昇 地 三 郎
座談会：脳性麻痺者の職業問題を考える……………	整肢療護園	小 池 文 英・他
展望 γ 系生理の最近の知見(島津浩・東大教授講演要旨)……………	七沢病院	福 井 罔 彦
講座 脳性麻痺の神経病理学(2)……………	東大脳研	白 木 博 次
骨代謝について(2)……………	東大分院	吉 川 靖 三